



TITLE:

天文同好會 (日蝕號)

AUTHOR(S):

CITATION:

天文同好會 (日蝕號). 天界 1929, 9(101): 438-438

ISSUE DATE:

1929-08-25

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/161442>

RIGHT:

天文同好會

事務室より 今月はブレテンの配布状態に就いて申上ませう。

ブレテンが刷れてくる。第一に天文學教室の掲示板、準備室、雜誌室に掲示され、ついで教室の先生方や會員に配布される。それから發送にこりかゝるのであるが、發送先は、名譽會員、觀測部員の外次の通りである。

京都帝國大學内では 圖書館 物理學教室 地球物理學教室

其他では

東京天文臺

東京帝國大學天文學教室

水澤緯度觀測所

海洋氣象臺

第七高等學校物理教室

各支部幹事宛……………これは支部備付用

外國天文臺四十二箇所

地質鑛物學教室

倉敷天文臺

東北帝國大學天文學教室

中央氣象臺

高層氣象臺

編輯室より

今月號は御覽の如く、日蝕觀測紀念號として、大いに日食關係の記事を集めたつもりです。編輯者として、今度の日蝕觀測に行かれた全部の方に御寄稿を願つた次第です。山本先生は御歸朝から本號原稿締切まで僅が數日しかなかつたにも關はらず、本誌のため特に寸暇を割かれて、一文を寄せられた事を深く感謝する次第です。只上島先生丈は御都合の爲め、原稿を頂き得なかつた事を非常に残念に思つてゐます。尤も、同先生は御歸朝後、非常に多忙であり、又七月中旬から行はれる朝鮮各地の重力測定に出張觀測される準備等のため、遺憾ながら他日書いて頂く事に致しました。

尙ほ日蝕關係の寫眞は、まだまだ澤山残つてゐるのですし、又た本號から續く文もありますので、何れ來月號も日蝕紀念號の續きみたいなものになるだらうと思ひます。

又た、中村要氏の「反射望遠鏡の智識」は會員の尤も期待されてゐるものとは思つてゐますし、且つは原稿も頂いてゐるのですが、紀念號で原稿多數のため、特に割愛致しました、御諒承願ひます。